

あし、風通信 28号

応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

学びのスタンプ通算 35 号



平成 28 年度 主催講座のご案内

平成 28 年度開講講座につきまして、皆様のご協力のもと、そのご要望を考慮しつつ開講準備を進めてまいりましたが、その概要が決定いたしましたのでご案内いたします。下記 16 講座（35 回）の開講を予定していますが、その内 8 講座が見学、体験学習を含む講座となっており、これが 28 年度の特徴といえます。スタッフ一同多数の皆様のご参加をお待ちしております。今後もご期待に沿うべく魅力ある講座に努めてまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度 開講講座（網掛けの開講日は見学・体験学習講座）

| 講座 No | 講座名 ～サブタイトル～ | 開講日 |
|-------|---|------------------------------|
| 講座 1 | 日口の懸け橋 船頭・大黒屋光太夫 ～江戸時代にロシアを見た男～ | 4/13(水) |
| 講座 2 | 北海道の活火山 ～火山と共生する～ | 5/11(水), 5/18(水), 6/9(木) |
| 講座 3 | 『北海道遺産』を巡る旅～未来に引き継ぎたい北海道の宝物～ | 5/31(火), 6/7(火) |
| 講座 4 | 躍進する石狩湾新港 ～世界最長の超電導直流送電システムと水素エネルギー～ | 6/29(水), 7/20(水) |
| 講座 5 | アイヌとは？その歴史 ～古代から近世のアイヌの歴史～ | 7/7(木), 7/14(木) |
| 講座 6 | 石狩歴史散歩 ～花畔・新港地区/厚田地区～ | 7/9(土), 7/23(土) |
| 講座 7 | カレッジの社会見学ツアー ～王子製紙苫小牧工場、王子製紙 発電所、サッポロビール北海道工場～ | 7/26(火) |
| 講座 8 | 今に残る小樽職人の心意気 | 8/5(金), 8/25(木) |
| 講座 9 | 探してみよう、札幌駅のアート | 9/1(木) |
| 講座 10 | 初秋の日高路を旅する ～サラブレッド街道の魅力～ | 9/7(水) |
| 講座 11 | 北海道経済の現状とこれからの展望 | 9/15(木), 9/29(木) |
| 講座 12 | 北海道の 150 年物語 | 10/7(金), 10/21(金), 10/28(金) |
| 講座 13 | 石狩の漁業 ～今、石狩でどんな魚介類が獲れるの？～ | 11/8(火), 11/15(火) |
| 講座 14 | 北前船ものがたり | 11/16(水), 11/30(水), 12/14(水) |
| 講座 15 | イスラム教は平和的 ～石狩の若者がシリアとヨルダン・ザア タリ難民キャンプで考えたこと～ | 1/14(土), 1/21(土) |
| 講座 16 | おもしろ石狩大百科～いしかり人物語～ | 2/12(日), 2/19(日), 2/26(日) |

4 月の主催講座紹介

講座 1 日口の懸け橋 船頭・大黒屋光太夫

～江戸時代にロシアを見た男～

江戸時代に遠州灘で嵐に遇って遭難しロシアに漂流、10 年にわたる 4 万キロもの漂泊の旅をへて日本に帰り着いた一人の船頭がいた。伊勢白子（現在の三重県鈴鹿市）の大黒屋光太夫。2 度にわたりシベリアを横断し、女帝エカテリーナ 2 世に謁見し帰国を許された光太夫は 1792 年（寛政 4 年）ロシア初の遣日使節アダム・ラクスマンとともに根室に来航、日ロ交流の第一歩を踏み出した。講座では交流の懸け橋となった「大黒屋光太夫」の数奇で苦難に満ちた旅を追います。

市民カレッジデータ

（3 月 22 日現在）

○登録者～ 187 人

○協力団体～106 団体



□ゴ制作者

丸山英里子さん

平成 28 年度「まちの先生企画講座」のご案内

「まちの先生企画講座」は、市民の方がこれまで培ってきた仕事や趣味などで得た知識、経験、技術などを活かして“まちの先生”となって、講座の企画から運営までを行い市民の学びの手助けをするものです。講座の受講生も 20 名程度とし、講師と受講者との学びあいを大切にした市民が主役の新しい生涯学習を行うことを目的に平成 22 年度から始めたものです。平成 28 年度も、デコパージュや絵手紙、ストレッチ、電気の話など楽しい講座となっています。ぜひ、お友達などとお誘いのうえ受講されませうご案内いたします。

| 講座 No. | 講座名 | 場所 | 講座日時 |
|--------|--|-----|--|
| 講座 1 | 大人可愛いデコパージュ | 公民館 | 4/28(木),5/12(木),5/26(木),10:30~ |
| | ヨーロッパ発祥のデコパージュペーパーナプキンを使い身近なものに飾り付けます。材料費として、①②は各 800 円、③は 1000 円必要です。 | | |
| 講座 2 | 初めての楽ちん運動 ～ゆるゆるストレッチ～ | 公民館 | 6/13(月),6/20(月),6/27(月),10:30~ |
| | 中高年の腰痛や肩こり対策にゆっくりストレッチし、様々な怪我や痛みの予防を目指します。 | | |
| 講座 3 | 家庭で役立つ電気の話 | 公民館 | 8/08(月),8/22(月),9/05(月),10:30~ |
| | 家庭で使う電気の基本から照明器具、調理器具の話や燃料電池、電力の自由化までを学びます。 | | |
| 講座 4 | あったかい絵手紙をかこう | 公民館 | 11/11(金),11/18(金),11/25(金), 10:30~ |
| | 自分だけの個性ある絵手紙や年賀状も描けるようにした講座です。材料費として 1500 円必要です。 | | |
| 講座 5 | 子育てママさんの骨盤体操とストレッチ (子供同伴可) | 公民館 | H29/1/23(月),1/30(月),2/06(月), 10:30~ |
| | 産後の骨盤の歪み改善し育児で固まった体をゆっくり呼吸しながら伸ばしていきます。 | | |

第 14 回修了証授与式を行いました

3月16日(水)12時30分から第14回(通算第17回)修了証授与式を市役所ロビーで行いました。受証者は延16名(一人はダブル受証)で、ブロンズ3名、シルバー2名、ゴールド3名、ダイヤモンド3名、スーパーダイヤモンド2名、マスター500 2名、マスター700 1名です。一人ひとりに田岡克介いしかり市民カレッジ学長より修了証が手渡されました。



更新手続きのお願い

～年度会費は4月末日までにお願ひします～

平成 28 年度が始まりました。更新手続きと年度会費(1,000 円)の納付をよろしくお願ひします。

①公民館での受付 ②主催講座会場での受付 ③郵貯銀行での振込み

●お問い合わせは市民カレッジ事務局(石狩市公民館 ☎0133-74-2249)へお願ひします。

受講者の声（主催講座アンケートより）

27年度の主催講座は16講座（35回）でスタートし特別講座が2講座（2回）追加となり累計18講座（37回）開講しました。受講者は延べ1,436人です。その間受講者の皆さまから多数のアンケートをいただきましたので、その一部を要約して紹介します。

講座1「いま、ロシア極東と北極海がおもしろい」 カレッジの企画のおもしろさ、魅力ある講師、内容（目の付け所）に感心。経済、世界の動き、日本、北海道そして石狩の繋がりを私達に分かるようにコンパクトにまとめて伝えていただいた。

講座2「北の人物伝Ⅰ」 今講座の3人の名前（知里真志保、依田勉三、新渡戸稲造）は知っていたが、講座では詳しくそれぞれの生き様を聞いて大いに勉強になり、尊敬すべき人物であると感じ入った。新渡戸先生の人格と行動力、世界的な活躍に感服した。

講座3村山耀一さんと歩く「石狩歴史散歩」 村山さんの細かい説明（資料も）大変良かった。隠れた史跡がずいぶん多くあるものと思った。石狩は古い歴史の土地であることが良く分かった。

講座4「北海道遺産を巡る旅」 炭鉱関連施設は初の見学。山の中の宝物を掘り出すことがいかに大変か想像できる。月形集治監も初めてで勉強になった。更にジンギスカンはまた格別の味で疲れも一掃された。

講座5「さっぽろアート散歩」 芸術の森のアートとPMFのコンサートは本当に素晴らしかった。

講座6「文明開化（西欧化）の名のもとで日本人は何を失ったか」 幕末から明治初期までの歴史は、ほとんど学校では習わず、今から、たかだか150年前の日本について、知らないことが多すぎると感じた。話だけでは伝わらない情報を、当時の本（絵本）を資料としていただきとても理解し易かった。

講座7「今年は、戦後70年～歴史の記憶を風化させないために」 講師の熱意あるお話に感動した。戦争の記憶が薄れていく我々の年代は、体験したことをこれからの人たちに伝える役目があると思った。

講座8「躍進する石狩湾新港」 石狩湾新港、企業見学いずれも最新の設備で、まさに21世紀最前線の思いを感じた。石狩を中心に札幌、そして全道にこの勢いを広げてほしい。

講座9「おもしろ、いしかり大百科」 普通の一般的な石狩にまつわる情報を更に掘り下げた内容で大変深まりがある。多くの石狩の人に聞いてもらいたい、おもしろく興味深いお話しで、さすが百科と感じた。

講座10「石狩の自然を歩く～紅葉山砂丘～」 講座のたび新発見があり、楽しんで学べた。充実したフィールドワークでした。

講座11「北の人物伝」 今回二人の人物エドウィン・ダンとウィリアム・スミス・クラークを取り上げて北海道開拓に遺した足跡を見た。これらの人物は明治時代に活躍したが、その考え方は現代でも十分に通用するものであり、興味深く聞いた。

講座12「今、中東で何が起きているか」 扱う問題が大きすぎ、どのくらい掘り下げた話が聞けるのかと思っていたが、ほぼ満足できる話だった。今後これを聞いた私たちはどうすればよいのかをこれから考えていきたい。

講座13「石狩歴史散歩（浜益会場）」 村山先生の郷土に対する情熱あふれる講座でした。わくわくしながら聞きました。短い、限られた時間の中に内容の濃いわかりやすい講義をきくことができ大満足でした。感謝しています。現地でお話しをきく事の意義深さを感じています。

講座14「人口減少」 高齢化は自然現象。問題は少子化対策を考えることが重要。女性が安心して出産や育児ができる環境づくりが必要。女性が安心して働ける職場作りが特に大切である。将来的には、地域に若い人が多くなることが地域を維持する鍵になると考える。

講座15「超高齢社会」 各講座はいずれも特徴があって良かった。第1回の老化対策「身体活動」の一部は実践するようにしている。第2回「人生90年代を生きる」の高齢化率などの各種数値は客観的なものとして参考になった。第3回「終活を考える」は今後を考えるうえで最も参考になった。

講座16「明治初年の文化政策とアイヌ」 アイヌ民族に対する認識を深める事が出来とても良かった。人種差別、人権に対する考えの甘さと「知らない」事による差別意識をいかに払拭して行くかが課題だと思った。

特別講座「TPP！どう変わる、北海道と道民生活」 TPPについては中味が不明のまま、もんもんとした気持ちだったが、資料に基づく大変分かりやすいお話だった。

特別講座「どうなる？どうする？北海道の鉄道～新幹線とローカル線」 タイムリーな問題で、メリハリ良く聞きやすい講義。日ごろ鉄道にはあまり関心がなかったが、疑問に思っていたことが分かり、受講してよかった。特に道内の経済問題について、これから関心を持って考えられる。

■ 発 行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：中川、勝木、三上、光川、石井

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL：0133-74-2249 FAX：0133-74-2249

E-mail：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス：http://www.ishikari-c-college.com/